

クラブビジョン

親睦を通じて広い視野と他者を思いやる心を育み、地域社会と協力してニーズに即した事業を展開し、誰もが参加したくなるような魅力あるクラブを実現する

四つの優先事項

より大きな
インパクトをもたらす

参加者の
基盤を広げる

参加者の積極的な
かかわりを促す

適応力を
高める

戦略目標

インパクトのある
奉仕活動により
認知度と存在感を高め
地域に必要とされる
団体としての地位を確立

ロータリーの行動規範を
順守し、文化的多様性を
活かした幅広い会員構成
を目指し、計画的に会員
増強維持を推進する

ロータリーの奉仕の
理念を理解し
親睦と交流を深め
会員及び参加者の
積極的な参加を促す

リスクを恐れず
変化をもたらす
新しい視点や考え方を
追求することでクラブの
強化と適応力を高める

3年目標

地域の課題とニーズを
把握し、関係諸団体と
連携して持続可能な
新規社会奉仕プロジェクト
の実施と成果の検証

クラブの奉仕活動や親睦の
様子をクラブ内外に広報し
クラブの魅力を発信する
ことで、会員増強に積極的
に関わる土壌を作る

会員のニーズを把握し
プログラムを開発
会員満足度を高め
世代を超えた人的交流
を活性化させる

I C Tデータ活用による
透明性の高い効率的な運営
と情報共有

地区出向者の計画と支援

国内外に姉妹クラブ
および新規友好クラブの
提携を推進し、グローバル
補助金を活用した
国際奉仕プロジェクト
の立案と実施を図る

再設立したRACを起点に
青少年交換学生、米山学友
IACと連携を強化し
クラブ内外に世代を超えた
交流を促進することで
ロータリーへの新たな
参加経路を開発する

各段階ごとに研修を実施
リーダーシップの育成と
活発な委員会活動により
会員相互の交流を深め
楽しく活動できる
環境を構築し、出席率の
向上を図る

奉仕活動の成果の確認と
見直し継続判断

価値観を守りつつ
クラブの状況変化にあった
効果的な戦略計画の立案と
細則の継続的な検証

2025年～26年 行動計画

優先事項 1 より大きなインパクトをもたらす

年次目標	実行項目	達成期日	必要なリソース	担当委員会
新規社会奉仕プロジェクト	・他団体と連携した 新規合同奉仕事業の実施	2026年5月	・地域社会における課題の把握 ・クラブの独自性や会員の強みを 活かした事業の企画立案・実施	社会奉仕委員会
新規国際奉仕プロジェクト	・地区補助金の利用も視野に 入れた国際奉仕事業の企画	2026年4月	・地区国際奉仕部門との連携 ・地区財団部門との連携	国際奉仕委員会
既存支援事業の検証	・支援事業を個別に精査し 継続・終了・見直しを判断	2026年6月	・既存事業の現状把握 ・クラブ内の意向確認	長期計画特別委員会 各担当委員会

優先事項 2 参加者の基盤を広げる

年次目標	実行項目	達成期日	必要なリソース	担当委員会
ローターアクトクラブ設立と フォローアップ	・RAC会員募集・活動支援 ・RC会員への周知	2026年6月	・地区RA委員会との連携	ロータアクト委員会
純増6名の会員増強	・会員の人的ネットワークの 可視化と共有 ・職業分類表上の空白職種 へのアプローチ	2026年6月	・会員増強の必要性の理解増進 ・職業分類表の精査	会員増強・会員選考委員会 会長・幹事・理事会

優先事項 3 参加者の積極的なかわりを促す

年次目標	実行項目	達成期日	必要なリソース	担当委員会
新入会員研修	・新人会員研修の定期開催	2026年6月	・ファシリテーター・研修資料	ラーニングチーム
入会3年未満の会員研修	・炉辺会合や、他クラブ会員 による卓話会実施 ・メイクアップツアー開催	2025年12月	・炉辺会合の設営 ・卓話者の選定	ラーニングチーム プログラム委員会 出席委員会

優先事項 4 適応力を高める

年次目標	実行項目	達成期日	必要なリソース	担当委員会
運営方針の検証と見直し	・会員ニーズの把握	2025年12月	・会員満足度調査	会長・幹事 管理運営部門
新たな行動計画の策定	・クラブビジョン達成に向けた 行動計画の策定	2025年7月	・過去の検証 ・地区との連携	長期計画委員会
運営の効率化	・ICTを活用した効率的な クラブ運営	2026年6月	・デジタルツールの導入	広報・ICT委員会